



木島平小だより

学校教育目標『心と体をひらいて学ぶ子ども』



令和6年1月30日(火)
第12号 木島平小学校

昨年末に降った大雪が次第に溶け、1月中旬には季節外れの雨も降った今年。“何だかもう春になってしまうのでは？”と思っていたところ、大雪が降って一気に冬に戻った木島平。この降雪のおかげで校庭のクロスカントリースキーコースは最高のコンディションとなり、校庭でクロスカントリースキーが本格的に始まりました。雪をたっぷり楽しむ時間となります。一方、道路や屋根に降り積もった雪は、登下校中の子どもたちの安全を脅かすものにもなりますが、降雪時には朝早くから地域の方が歩道の雪かきをして下さっていること、本当に感謝です。地域の方、おうちの方の支えもあって安全に登校できていることを伝えながら、安全な登下校の仕方を引き続き指導していきます。



雪の上を軽快に滑る～クロスカントリースキー～

「あ～、風が気持ちいい！」

「風さん、ありがとう！！」

1年生が体育でクロスカントリースキーを行ったあと、スキーを外していた時、たくさん滑って顔を真っ赤にした1年生がサ～ッと吹いた風に向けて発した言葉です。気温が低くても、積極的に歩いたり滑ったりする子どもたちは、汗びっしょりになります。運動をしていないとブルツと寒さを増すだけの風が、運動したての子どもには体温を下げてくれる最高の贈り物になる。そういう感覚をもてるってステキだな、と感じました。



今シーズンは、なかなか雪がたっぷり積もらず、クロスカントリースキーの授業ができない時も多くありました。しかし、最近の大雪のおかげで校庭にはしっかりと圧雪されたコースが作られ、これから本格的なクロスカントリースキーの授業が始まりそうです。

クロスカントリースキーをはじめ履く1年生も、今では一人一人自分に合ったペースで歩いたり滑ったりすることができるようになりました。高学年になると、勢いのあるスケーティングをして滑る子どもが多くなり、毎年積み重ねてきたものの大きさを感じます。2月もしばらくクロスカントリースキーの授業は続きます。木島平小学校ならではの体育の授業。1月下旬から2月にかけて、各学年2回のアルペンスキー教室も計画されています。ウィンタースポーツを存分に楽しんでもらいたいと思っています。

世界で1枚だけの卒業証書～6年 紙すき体験～



木島平小学校の卒業証書は、6年生の子どもたちが自分の証書を自分で紙すきをして作ります。しかも、その紙すきの材料の楮(こうぞ)を育て、加工する体験もします。今月、6年生は、楮(こうぞ)の『皮かき』『節ひろい』そして紙すきを行いました。様々な工程を経験し、自分の卒業証書を木島平村伝統の内山和紙で作った6年生。その証書には、たくさんの小学校時代の思い出が込められていることでしょう。卒業証書授与式は、3月15日です。

児童会のまとめと引き継ぎ

“全校のみんなが楽しめるように”という思いをこめ、体育委員会が全校レクを企画してくれました。やった遊びは、『ジャンケン列車』。最初は一緒に遊びに来た同学年の友だちとジャンケンをしていましたが、列が長くなるに従って、ジャンケンをする相手が異学年になり、自分の列が負けないように先頭の子を応援する。ルールも簡単で自然といろいろな学年がかかわり合って遊ぶことのできるこの遊びは、子どもたちに人気のある遊びです。寒い日の休み時間でしたが、笑顔があふれ、体も心もあたたまった時間となっていました。



1月1日に起きた能登半島地震は、たくさんの犠牲者と多くの建物の崩壊に見舞われた大災害となりました。今なお避難生活を続けられている方も多くいらっしゃるご、復旧の目処がなかなか立たないことなどが、連日報道されています。そういう報道を聞いた代表委員会の子もたちが、自分たちにできることはないか考え、「募金活動をしたい」と先生に伝えてきました。そこで、代表委員会の6年生で日時ややり方を決め、全校児童に呼びかけて募金活動を行いました。自分たちで考え、行動する姿は、児童会で身につけてほしい姿の一つです。こういう姿を下級生が真似をしていき、これからの木島平小学校を支えていくようになるんだろうな、と感じています。



集まった募金は、木島平村社会福祉協議会を通して日本赤十字社に送り、被害の大きかった地の復旧に活用していただくようになります。

そして、1月末、来年度の木島平小を先頭にたって引っ張っていく児童会長を決める児童会長選挙活動が行われました。投票をする3年生以上のクラスに教室訪問をし、自分がやりたい活動や目指す小学校像を伝えた児童会長候補と、その児童会長候補の魅力を伝えた推薦責任者の子もたち。2月1日に行われる立会演説会と投票を経て新しい児童会が立ち上がります。令和5年度の木島平小学校を引っ張ってきてくれた6年生もそこで世代交代となります。上に記したような児童会活動以外にも、毎日行っている当番活動も5年生に引き継がれます。



よ〜く見て描く 思いのままに描く〜ランタン作り〜

木島平村観光振興局で『きじまだいらランタンフェス』を企画されました。その企画の一つにランタンで作る光のアートがあります。そのランタン作りの依頼が小学校に来ましたので、全校児童で取り組みました。

ファミリーで楽しめる！
雪景色の中に灯る光に
心あたたまる夜

きじまだいら
ランタンフェス

2024 2.10 sat
点灯16:00〜

参加無料 道の駅ファームス木島平

キッチンカー
出店

タイムテーブル (予定)

14:00〜	開つき体験
16:00〜	オリジナルランタン作り
16:00〜	ランタン点灯開始
19:00	イベント終了予定

みんなで作る光のアート！大切な人と一緒に見せませんか。

【お問い合わせ】
木島平村観光振興局 (一社) 木島平村観光振興局 Tel.0269-82-2800
〒998-8501 木島平村大字木島平1-1-1

白色の紙袋に思い思いの絵を描いたり切り抜いたりして作るランタン。子どもたちに作り方を伝えると、どの学年の子もたちもその紙袋と向き合い、自分の好きなキャラクターやオリジナルの絵を描き込んでいきました。オリジナルの絵を描く子は、どんどん鉛筆を走らせて1枚の紙袋のキャンパスを絵で埋めていきました。一方、自分の好きなキャラクターを描く子は、タブレットPCを使って好きなキャラクターを調べ、好みの絵を見つけてそれと同じになるように細部までこだわって描く姿がありました。どちらにも共通しているのは、『自分の好きな



ものを描く』ということ。だからこそ、どの子も時間をかけてこだわって描いて、その熱量に圧倒されました。

作ったランタンは、2月10日にファームス木島平に飾られます。当日もランタンを作ることができるようです。お子さんの作ったランタンを見に行きながら、ぜひうちの方も作ってみたいはいかがでしょうか。

1月の校長講話では、木島平の冬に欠かせない雪について考えました。子ども

たちは、身近であるからこそ気づいていなかった雪の魅力を再確認することができたと思います。

12月はなかなか雪が降らなかったのですが、12月の終わり、そして冬休み中に少しまとまった雪が降り、校庭やみどりの森にも雪が積まりました。冬らしい景色が見られています。今日は、この雪とわたしたち、そして雪と木島平村について考えてみたいと思います。

皆さんにとって、雪はどんなものですか。雪があるといいところ、楽しいところといったらどんなことが思い浮かびますか。できるだけたくさん思い浮かべてみましょう。考えたら、隣の人や近くの人と思い浮かんだものを出し合ってみましょう。雪合戦ができる、かまくらが作れる、雪だるまが作れる、スキーができる、スキー場に行ける、体育でスキーができる、そりができる、雪に絵が描ける、景色がきれい、つららができる、まだまだ楽しいことがいっぱいあります。では、逆に雪があると困るところ、いやところはありませんか。思い浮かぶことがありますか。また、近くの人と話してみましょう。靴や服が濡れて冷たい、雪を片付けるのがたいへん、道路が滑って歩きにくい。雪にはいいところもよくないところもありますが、ぜひいいところをたくさん見つけて木島平の冬、木島平の雪を好きになってほしいと思います。

木島平村には、この雪を利用しているものがいろいろとあります。今日はその中からいくつかを紹介します。まずは、木島平村といえばおいしいお米です。お米作りには、この雪がとても関係しています。お米が育つ春から秋にかけては雪が降らないので、お米と雪なんて関係ないような気がしますが、そうではないのです。お米作りには水がなくてはならないものです。この水は、樽川、馬曲川の水ですが、もともとはカヤノ平高原に降ったたくさんの雪が、豊富な雪解け水となって流れているものです。冬の間の雪がおいしいお米のもとになっています。

また、ご飯として食べてもおいしいお米ですが、木島平村のお米はお酒、日本酒の原料としてもとても有名で、おいしいお酒をつくることができます。皆さんは、まだお酒を飲むことはできないので、そのおいしさはわからないので、おうちの人にきいてみてください。このお酒づくりにも雪が役立っているそうです。これは、内山の雫というお酒で、内山の名前がついているように木島平につながりのあるお酒です。お米が木島平村のお米、水は木島平村のわき水、そしてラベルには内山紙が使われているのです。このお酒、「雪に埋めてみたらおいしくなるのでは」と雪に埋めて春に飲み比べをしたら、全員が驚くほどおいしいお酒になったということで、雪中貯蔵酒と呼ばれるそうです。雪には、お酒をおいしくする力があります。

雪の力でおいしくなるのはお酒だけではなくありません。皆さんも知っているように、下高井農林高校にはおそばを作る「そば部」があって活躍をしています。農林高校のそば部の皆さんは飯山そば振興研究会のみなさんと一緒に飯山市にある棚田の杜ほくずいというところで学生食堂を開いて年に一度おそばを食べさせてくれます。先生もそこへおそばを食べに行ったことがあります。そこではおそばをおいしくするにも雪の力が役立っていると説明がありました。飯山そば振興研究会ではそばの原料となるそばの実を雪を利用した天然の冷蔵庫で熟成させた「飯山雪室熟成そば」を作っているということで、雪の力でそばもおいしくすることができます。

雪の力はまだ他にも役立っています。内山和紙です。6年生は今、自分たちの卒業証書を手作りしています。コウゾという原料から紙ができるまでにはいろんな作業が必要で、その一つ一つに取り組んできた6年生の和紙はもうすぐにできあがってくるそうです。卒業式で手渡されるのを楽しみにしててください。その紙づくりにも雪の力が大きな役割を果たしています。これが、紙の材料になるコウゾの木でここから皮をとって紙の材料にしていくのです。6年生もランチルームでいくつもの作業に取り組んできました。今回、6年生はやらなかった作業ですが、この皮を雪の上に並べる作業もあり、それを『雪さらし』というそうです。この雪さらしをすることでコウゾを白くすることができるそうです。こうして紙の原料ができ、紙すきをして卒業証



書となる和紙ができあがります。紙すきの様子は実際に体験した6年生に詳しく聞いてください。このように雪には和紙を白くする力もあります。

さらに、木島平村には雪を利用したスキー場があります。このスキー場にいろいろなところからお客さんが集まって、スキーを楽しんでいきます。また、雪を利用したイベントが他にも行われます。道の駅ファームス木島平では木島平ランタンフェスを開いて雪のきれいな景色を大勢の人に楽しんでもらおうと企画をしています。木島平小学校のみなさんにもそのお手伝いをお願いしたいということで、先週、このランタンを作ってもらえませんかとお願いがありました。地域の方や木島平に来た人に喜んでもらえるならば、ぜひ協力しますと引き受けました。みなさんのアイデアでぜひ、たくさんの人にきれいな雪景色を楽しんでもらえればと思います。よろしくお願ひします。



最初に話したように、雪は私たちにとって楽しいことがあるだけでなく、おいしいお米、お酒づくり、そばづくり、和紙を白くすること、スキー場やイベントにお客さんを集めることと私たちの生活にとっても役立つものです。雪は私たち木島平と切っても切れない関係があります。雪の力には、もっといろいろなものがあります。ぜひ、どんなものがあるのか、おうちの人と話したり、調べたりしてみてください。そして、冬の間はたくさんで雪で遊んで、雪の楽しさをたくさん味わってください。雪がたくさん降る木島平に生まれて、育っていることを自慢できるようにいきましょう。

ただ、一方で雪はとても危険なものであるということも忘れないでください。除雪をしている機械のそばに近づかない、除雪でできた雪山に登らない、雪の積もっている屋根の下に行かない、雪のかぶさった川の上に乗らない、どれも命に関わる事故になってしまいます。自分の命をしっかり守りながら、雪を楽しんでいきましょう。

お知らせ

〇PTA送別慰労会の開催日の変更をお願いします

年間行事予定表には、PTA送別慰労会の開催日が3月22日(金)と記載されていますが、職員の会議が入ってしまった関係で開催日を変更させていただきます。変更後の日には、**3月19日(火)**です。詳細は、後日PTA事務局より通知が出されますので、ご確認ください。なお、同日に予定されている**PTA決算総会も、おなじように3月19日(火)の実施と変更させていただきます。**

〇大谷翔平選手のグローブが届きました

日本中の小学校に寄贈された大谷翔平選手のグローブが、木島平小学校にも届きました。全校集会を開き、大谷選手の願いと木島平小学校での使い方を伝えました。その日以降、朝の活動の時間や体育の時間を使ってクラスごと数回キャッチボールをする時間をとっていく予定です。グローブは、職員室前廊下に置いてあります。参観日でお越しの際にぜひご覧ください。



この手紙は、このたび私が学校に通う子どもたちが野球に興味をもってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだったからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の子どもたちに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

【大谷翔平選手からの手紙】

